

平成 27 年度 決算

市が 1 年間にどれだけの予算を使って、どのような事業を実施したのか決算内容と主な事業について説明します。

▶問い合わせ先 総務課財政班 (☎ 63-1111 内線 152)

一般会計決算状況

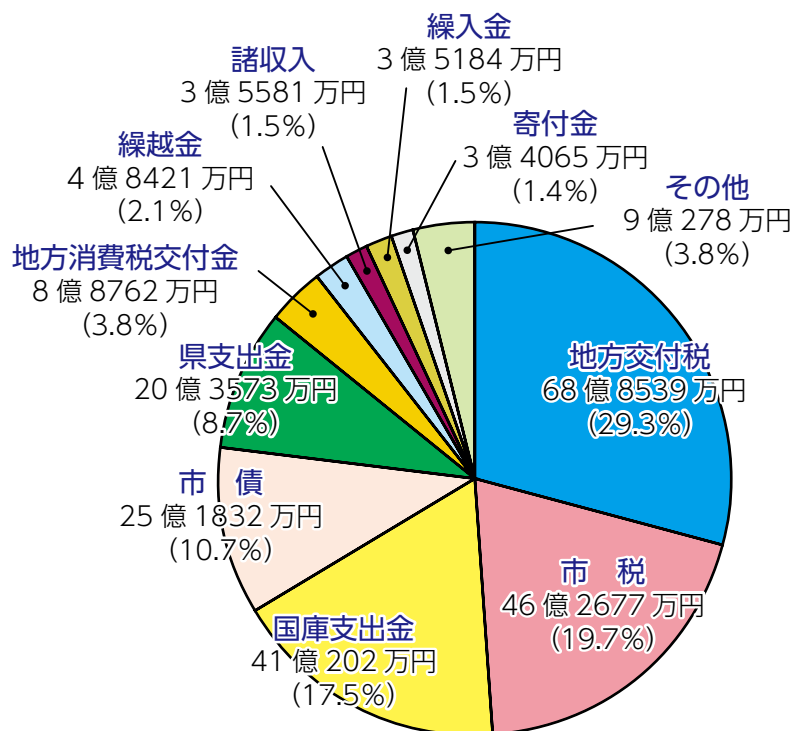
歳入

234 億 9114 万円

歳入総額は、234 億 9114 万円で、前年度に比べ 6 億 1763 万円(△ 2.6%)の減少となりました。

歳入減の主な理由

防災行政無線整備事業など大型公共施設の完成による「市債」の減、財源不足などを補うための基金取り崩しによる「繰入金」の減、「県支出金」などの減によるものです。



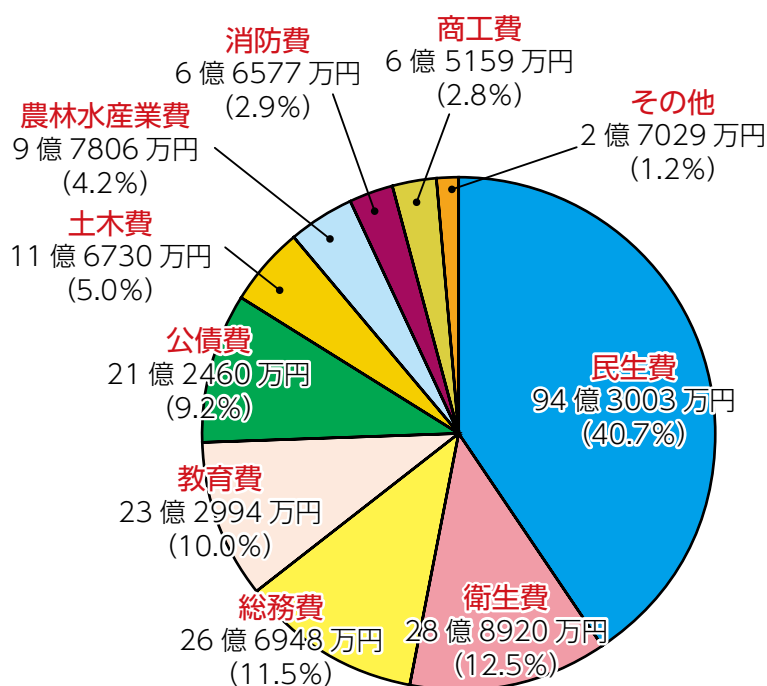
歳出

231 億 7626 万円

歳出総額は、231 億 7626 万円で、前年度に比べ 4 億 5241 万円(△ 1.9%)の減少となりました。

歳出減の主な理由

防災行政無線整備事業の完成による「消防費」の減、鯉の泳ぐまち市有地整備事業や萩が丘住宅整備事業などの大型公共施設の完成による「土木費」の減、「教育費」などの減によるものです。



平成 27 年度に実施した主な事業

すこやか子育て支援事業 1 億 5742 万円

小学生以下の子どもを 2 人以上扶養する場合に、2 人目以降の保育所・幼稚園・認定こども園の保育料を免除（補助）し、子育て世代への支援を行いました。

乳幼児等福祉医療費支給事業 9464 万円

乳幼児、小・中学生、ひとり親家庭などに対し、医療費の一部を支給して子育て世代の経済的負担の軽減を図りました。

小中学校体育館非構造部材落下防止改修事業 6 億 2744 万円

小学校 5 校、中学校 2 校の体育館の天井等落下防止工事を実施し、小中学校の体育館の非構造部材の耐震化が完了しました。

汚泥再生処理センター建設事業 9 億 5708 万円

汚泥再生処理センターの平成 29 年 3 月完成に向け、設計・施工監理業務委託や各種工事などを行いました。



三会・松尾漁港海岸保全事業 1 億 2509 万円

三会・松尾漁港海岸に消波ブロックを製作・設置し、台風時などの越波被害の防止対策を行いました。



霊南山ノ神線整備事業 1 億 2363 万円

霊南山ノ神線の測量・建物等調査の委託、用地取得などを行い、都市計画道路を整備しました。



島原市の財政状況を家計簿に置き換えると？

収入（市民 1 人あたり）		
項目	決算上の内容	金額
給料	市税・使用料手数料など	11 万 4694 円
親からの援助	国・県からの交付金	30 万 4711 円
預金の引き出し	他会計や基金からの繰入金	7577 円
借り入れ	市債	5 万 4231 円
前月からの繰り越し	前年度繰越金	1 万 339 円
雑収入	諸収入、寄附金など	1 万 3720 円
合計		50 万 5272 円

- ・貯蓄残高（基金残高）14 万 7281 円
- ・借金残高（市債残高）43 万 6122 円
- ※人口は 4 万 6437 人（平成 28 年 3 月 31 日現在）として算出しています
- ※家計簿の各項目の額は、総務省が定めた地方財政統計上の数値を使用しているため、決算書の総額とは若干の相違があります

支出（市民 1 人あたり）		
項目	決算上の内容	金額
食費	給与、議員報酬など	6 万 7556 円
日用品や公共料金など	旅費、光熱水費、郵便料・電話料など	6 万 3252 円
家電などの修理費	維持補修費	3853 円
医療費など	児童手当、生活保護費、福祉医療費など	12 万 8197 円
家屋の増改築	普通建設事業費など	6 万 6010 円
ローンの返済	公債費	4 万 5752 円
預金	積立金、貸付金など	1 万 2425 円
町内会費など	一部事務組合負担金など	5 万 7762 円
子どもへの仕送り	他会計繰出金	5 万 3684 円
合計		49 万 8491 円

市の財政は健全ですか？

地方公共団体の健全性に関する指標として、次の健全化判断比率を示す 4 つの判断指標と資金不足比率があります。本市の指標はいずれも基準を下回っており、今後も健全な財政運営を行っていきます。

①「**実質赤字比率**」は、一般会計などの実質的な赤字額が、標準的な収入に対して、どれくらいの割合になるかを示しています。

- ・早期健全化基準（黄信号ライン） 13.06%
- ・財政再生基準（赤信号ライン） 20.00%

⇒赤字はありません

②「**連結実質赤字比率**」は、すべての会計の実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるのかを示しています。

- ・早期健全化基準（黄信号ライン） 18.06%
- ・財政再生基準（赤信号ライン） 30.00%

⇒赤字はありません

③「**実質公債費比率**」は、一般会計などでの実質的な借入金返済額が、標準的な収入に対して、どれくらいの割合になるかを示しています。

- ・早期健全化基準（黄信号ライン） 25.0%
- ・財政再生基準（赤信号ライン） 35.0%

⇒ 4.6%（前年度は 5.4%）

④「**将来負担比率**」は、一般会計などが抱える実質的な負債残高が、標準的な収入に対して、どれくらいの割合になるかを示しています。

- ・早期健全化基準（黄信号ライン） 350.0%
- ・財政再生基準（赤信号ライン） —

⇒ 0%以下

「**資金不足比率**」は各公営企業の資金不足額が、事業規模に対して、どれくらいの割合になるのかを示しています。 ⇒資金不足はありません

平成 27 年度目的税の使途状況

都市計画税

事業名		決算額
街路整備事業		1 億 3817 万円
公債費（都市計画事業債のみ）		3 億 3490 万円
合 計		4 億 7307 万円
財源内訳	都市計画税	3 億 3190 万円
	国庫・県支出金	4870 万円
	市債	7380 万円
	繰越金	61 万円
	一般財源など	1806 万円

入湯税

事業名		決算額
環境衛生施設整備		9 億 5686 万円
鉱泉源の保護管理施設整備費		1400 万円
消防施設整備費		3107 万円
観光振興費		450 万円
観光施設整備費		912 万円
合 計		10 億 1555 万円
財源内訳	入湯税	1718 万円
	国庫・県支出金	2 億 3608 万円
	一般財源など	7 億 6229 万円

特別会計決算状況

特定の事業を行うための会計区分を「特別会計」といいます。本市には平成 27 年度末で 3 つの特別会計があります。

※安中土地区画整理事業特別会計は平成 26 年度に廃止しています

○特別会計総決算額

・歳入決算額 98 億 5250 万円(前年比 17.4%減)

・歳出決算額 97 億 6803 万円(前年比 18.1%減)

各特別会計の歳入額・歳出額は次のとおりです。

特別会計名	歳入額	歳出額
国民健康保険事業特別会計	86 億 839 万円	85 億 3939 万円
温泉給湯事業特別会計	6 億 6767 万円	6 億 6241 万円
後期高齢者医療特別会計	5 億 7644 万円	5 億 6623 万円